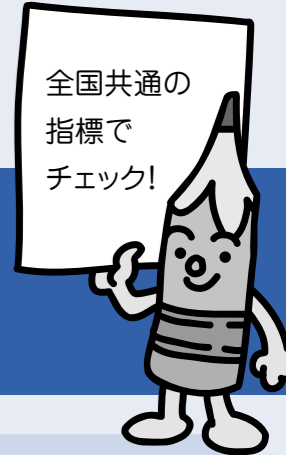


決算状況をまとめる中では、各種の財政指標等の算定も行います。7ページのグラフは、平成19年度を基準として、平成20年度の各指標の変化を表しています。グラフが外側に広がった方が、「財政状況が好転している」と見ることができます。

分析その1 財政指標

自治体の財政問題が新聞やニュースなどで話題となっていて、すが、わがまちの財政事情はどうなっているか、気になるところです。全国の自治体で用いられている指標によって、市の財政状況について探ります。



安曇野市の財政体力は？

- 1 **財政の体力をみる…**
財政力指数
- 2 **財政の借金をみる…**
地方債残高
- 3 **借金の財政負担をみる…**
実質公債費比率
- 4 **人口当たりの職員数**
職員数
- 5 **行政運営経費をみる…**
人件費・物件費等
- 6 **財政のゆとりをみる…**
経常収支比率

- 4 **職員数**
人口千人当たりの職員数は6・93人となりました。全国的に公務員を減らす努力が求められています。地方公共団体も定員の削減を行っているかなければなりません。安曇野市においては、合併による行政管理部門の統合等とも相まって職員数の減少が進んでいます。
- 5 **人件費・物件費等**
人口一人当たりの人件費・物件費等は1700円余減少しました。合併の効果によって人件費は減少となっています。今後も行政改革を進め、より効率的な行政運営を行っていきます。

1 財政力指数
0・657
財政力指数は、地方公共団体の財政力の強弱を示す指数です。地方交付税の基準財政収入額、基準財政需要額から計算されますが、「1」以下であれば、その不足部分は地方交付税が交付され、「1」以上であれば、地方交付税は不交付となり、自前の財源だけでいわゆる「標準的行政サービス」を行うことができます。県内19市の中の順位は8番目でした。なお、19市の平均は0・623ですので、平均以上の財政力を持っていることとなります。

3 実質公債費比率
15・0%
実質公債費比率は、借金の財政負担をみる指標です。18%以上になると地方債の借り入れに許可が必要となります。前年度と比べ、0・6%上昇し、15・0%となりました。詳細は8ページで解説します。

2 地方債残高
36万6163円
地方債とは、地方自治体の借金です。一人当たりの地方債現在高(借金残高)は7761円減少しました。

6 経常収支比率
87・3%
経常収支比率とは、経常的に支出する経費(経常的経費)のために「経常一般財源(市税・地方交付税等)がどれだけ消費されたかを示す比率です。経常収支比率は0・3%下降しました(昨年度87・6%)。国民健康保険特別会計や後期高齢者医療特別会計への繰出金が増加したほか、特に下水道事業特別会計への繰出金が増加しましたが、人件費等が減少となつていますので全体的には前年度より下がりました。

全国自治体の財政状況と比較すると、おおむね適正な状況ととらえられます。

わだい 民間シンクタンク調査で 県内トップに

民間シンクタンクが実施した自治体財政健全性に関する調査で、安曇野市は全国34位に位置することが7月28日に発表されました。この調査は(財)関西社会経済研究所(所長:本間正明)が行ったもので、全国775都市の2006年度の決算データに基づき、高齢化人口や地方税収などの社会的・経済的環境による影響を除く独自の評価方法により、財政運営の健全性を指標化したものです。この調査のランキングで、安曇野市は県内トップの34位。次いで小諸市が48位、上田市が63位にランクインしています。